

普及活動情勢報告（令和3年12月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

障害者雇用に取り組む企業との農福連携のマッチングに向けて ～JA実践ハウスを活用した農福連携ピーマン収穫体験会～



収穫体験会の様子

12月10日、土佐市労働力確保対策PT農福連携部会では農福連携に繋がるきっかけ作りとして、JA実践ハウスを活用したピーマンの収穫体験会を実施しました。

PTでは昨年度、県障害保健支援課から農福連携に取り組む県外企業の高知県進出の情報提供を受け、土佐市でのマッチングについて検討してきました。今回は、まずは企業の幹部の方に、作業的にマッチングが可能かどうか判断してもらおうと、収穫作業体験を実施しました。

体験会を通じて幹部の方からは「障害者の方もコツをつかめば十分できる仕事」と評価していただきました。

農業改良普及課は、今後もPTの活動を軸に関係機関と連携し、農福連携に取り組む企業とのマッチングに取り組んでいきます。

厳寒期の省エネルギーと増収を目指して ～JA高知県土佐市ピーマン部会現地検討会を開催～



資料を見ながら情報交換する参加者

11月26日、JA高知県土佐市ピーマン部会は宇佐地区で現地検討会を開催し、生産者13人が参加しました。農業改良普及課は省エネルギー管理について、ベテラン農家と新規就農者との水平カーテンの開け方によるハウス内温湿度変化の違いを「SAWACHI」環境データを活用して説明しました。

新規就農者は、ちょっとした管理の違いがハウス内温度に与える影響に驚き、毎週提供しているベテラン農家との比較データを基に、参加者同士で各々の管理について情報交換していました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して、ピーマン産地の活性化とIoPの推進に向けて支援を行っていきます。

ショウガ栽培農地の健全化に向けて ～JA高知県仁淀川地区コスモスショウガ部会栽培講習会を開催～



土壌消毒の注意点について説明する普及指導員

12月10日、JA高知県コスモス生姜部会が栽培講習会を開催し、生産者31人が参加しました。農業改良普及課は、土佐市ショウガスマート農業協議会の取り組みと土壌消毒時の注意点について説明しました。

生産者からは「土壌還元処理後の栽培ほ場の病害の発生状況について知りたい」、「土壌消毒で被覆資材を再利用すると病気の発生が多かった」との声が聞かれるなど、病害防除対策の徹底への取組意欲を高めることが出来ました。

農業改良普及課は、今後も高吾農業改良普及所やJA等関係機関と連携して、健全農地確保に向けて支援します。

土佐市の若手農業者がグループワークで意見交換 ～JA高知県青壮年部土佐市本部支部間交流会の開催～



グループに分かれて日頃の悩みについて意見交換

12月7日、JA高知県青壮年部土佐市本部の若手農業者を対象に交流会が開催されました。この会は、若手農業者同士の交流・情報交換や知識習得を目的に、土佐市の親元就農者17人と関係機関が参加しました。

農業改良普及課からは、農業経営で知っておくべき知識と情報入手の手段など紹介を行いました。この後、3グループに分かれて、日頃の農業現場での悩みや疑問について意見交換を行いました。

参加者からは「人手が足りない」、「重油や資材の高騰が心配」、「制度の情報を知りたい」、「コロナで横のつながりが少なくなった」といった声があがっていました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携し若手農業者同士の交流や技術研鑽に向けた取り組みを支援します。